

H28 年漁期のあかいか(ソデイカ)漁業について

今漁期(H28 年漁期)のあかいか(ソデイカ)漁業について取りまとめましたのでお知らせします。

1 平成 28 年漁期の漁況

【兵庫県下各漁協(支所)の漁獲】

平成 28 年(2016 年)の漁獲量(速報値)は、但馬漁協津居山支所 27 トン(2015 年は 0.7 トン)、竹野支所 26 トン(同 0.7 トン)、柴山支所 24 トン(同 0.5 トン)、香住支所 85 トン(同 0.5 トン)、浜坂漁協 32 トン(同 0.02 トン)、**合計 194 トン**(同 2 トン)であり、**昨年の大不漁から大きく回復しました**(図 1)。

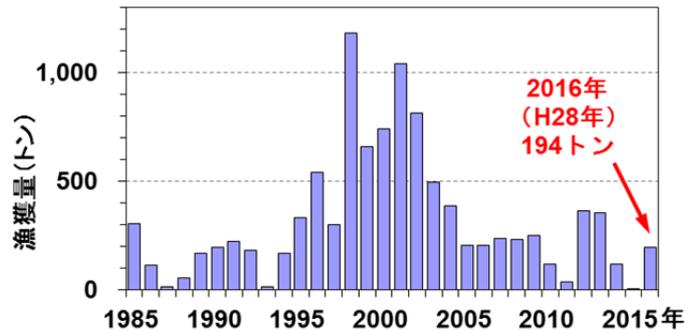


図 1 あかいか(ソデイカ)漁獲量の推移(但馬全体)

2 価格の推移

県下全域の漁獲金額(速報値)は、**合計 1 億 2,044 万円**(2015 年は 337 万円)でした。平均単価(1kg あたり)は、**8 月が 791 円、9~12 月にかけて 550~660 円台で堅調に推移**しました(図 2)。

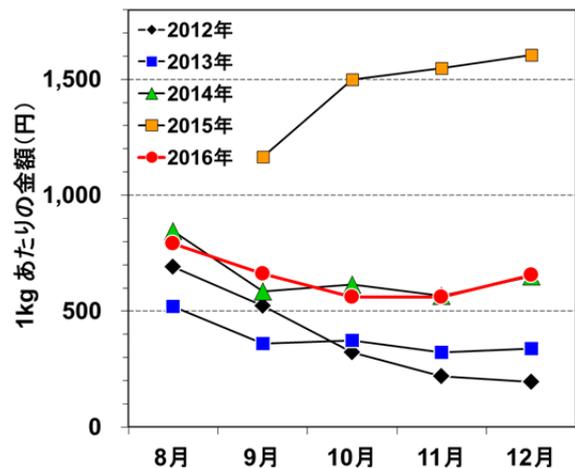


図 2 あかいか(ソデイカ)平均単価の推移(但馬全体)

3 漁況予報の結果

今年度、当センターでは、7 月 20 日に「あかいか(ソデイカ)長期漁況予報(予報期間:9~11 月)」、10 月 5 日に「中短期予報(漁況経過と漁期後半の予報)」をそれぞれ発表しました。主な予報内容と結果は、以下のとおりです。

①来遊水準:「過去 10 年平均(2006~2015 年:127kg)と概ね同程度の漁獲となる見込み」と予報

結果:→ △:『漁獲量は過去 10 年平均を上回り、昨年の大不漁から大きく回復しました。』

②平均漁獲量:「1 日 1 隻あたりの漁獲量(9~11 月平均)は、135kg 前後の見込み」と予報

結果:→ △:『9~11 月の 1 日 1 隻あたりの平均漁獲量は 167kg で、予想を上回る高い値でした。』

③漁場:「山陰・若狭沖冷水域の張り出しはやや小さく、対馬暖流域の 50m 深水温はやや高めで推移し、漁場形成はやや沖合にまで広がる見込み」と予報(7 月)

「好漁場の指標となる水深 100m における水温 15°C の等温線の配置の推移から、但馬沖では概ね北緯 36° 以南に漁場が形成されやすい」、「但馬沖合の北緯 36° 以北には小規模ながら冷水域が長期間形成され、今後の漁場形成に影響を及ぼす可能性がある」と予報(10 月)

結果:→ ○:『冷水域の張り出しはやや小さめ、50m 深水温はやや高め~平年並みでした。』

4 その他

例年 10 月頃にみられる新たな小型サイズの群の加入がなかったものの、特に 9 月から 10 月にかけて好調であり(漁獲量の 75%)、今漁期の漁獲量を押し上げました。ソデイカ漁業は南方からの来遊量の影響が大きく、近年漁獲量の変動が大きくなっており、継続してデータを蓄積していくことが重要となります。

今後も、引き続き調査へのご協力をよろしくお願いいたします。

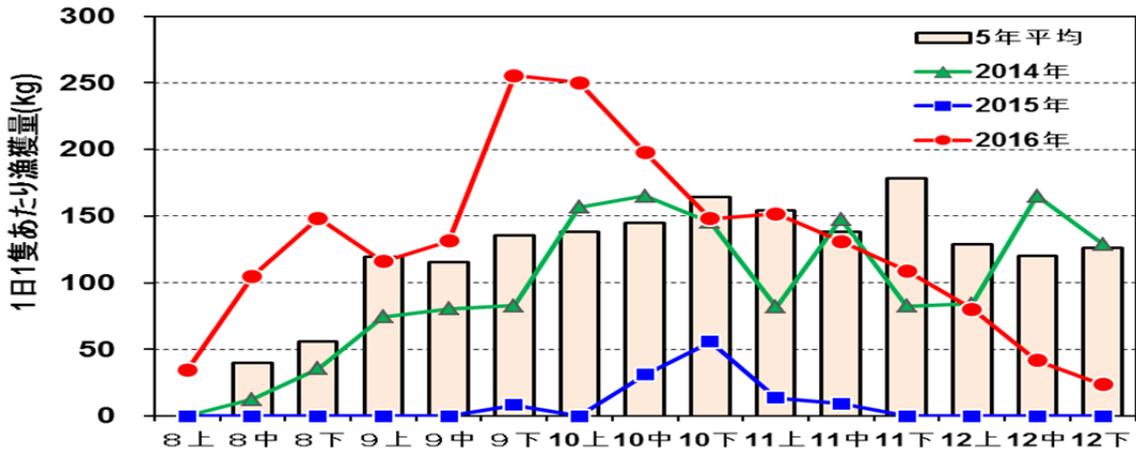


図3 あかいか(ソデイカ)来遊量指標の旬別推移

※来遊量指標は JF 但馬香住支所の 1日1隻あたりの平均漁獲量

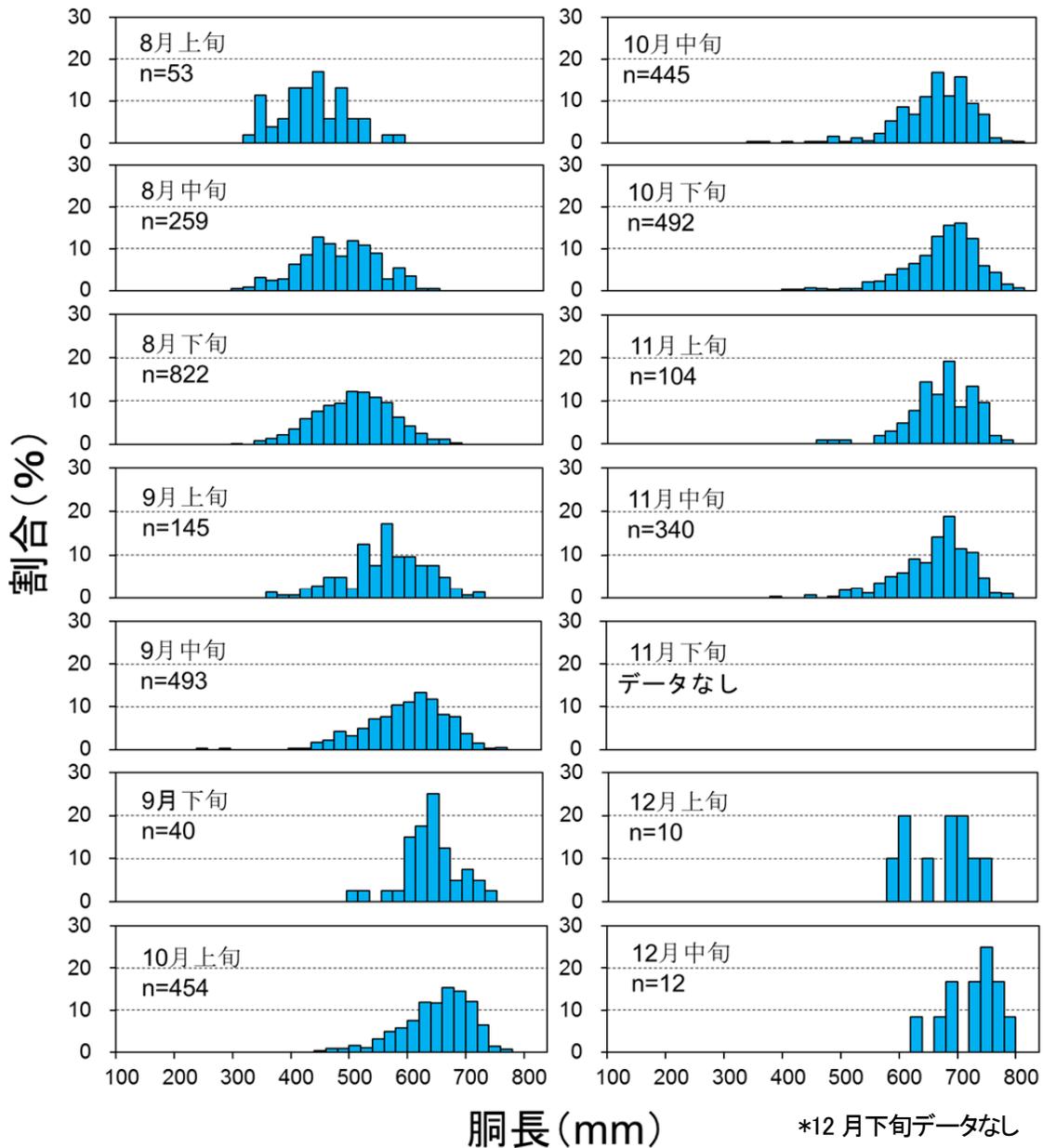


図4 2016年漁期のJF但馬香住支所に水揚げされたあかいか(ソデイカ)の体長組成

※nは各旬に測定したあかいか(ソデイカ)の数を示します。

※なお、胴長を体重に換算すると、概ね次のとおりとなります。

300 mm = 1.0 kg、400 mm = 2.4 kg、500 mm = 4.7 kg、600 mm = 8.0 kg、700 mm = 12.7 kg、800 mm = 19.0 kg